

早稲田大学日本語教育学会 2018年 秋季大会プログラム

開催日時 2018年 9月 16日 (日) 9:45~14:40

【会場】早稲田大学国際会議場 3階(第一会議室・第二会議室)、4階(共同研究室(1)~(6))

【時間】受付 9:15~ (3階 ロビー)
 開会式 9:45~ 9:55(3階 第一会議室)
 口頭発表 10:00~11:05(3階 第一会議室・第二会議室)
 ポスター発表 11:10~12:00(4階 共同研究室(1)~(5))
 実践エキスポ " (4階 共同研究室(6))
 ブックセミナー 11:10~12:35(3階 第一会議室)
 早稲田大学日本語教育研究センター30周年特別企画 13:00~14:30(3階 第一会議室)
 総会 14:30~14:40 (3階 第一会議室)

【参加費】会員 500円・非会員 600円・専任教員 1,000円

※事前申し込み不要。直接会場までお越しください。

※今大会より紙媒体の予稿集は配布しません。学会ホームページから直接 PDF ファイルをご覧ください。か、モバイル端末にダウンロードし、ご覧ください。

※今大会は、懇親会は行いません。

【口頭発表】 10:00~11:05

時間	第一会場：3階 第一会議室	第二会場：3階 第二会議室
10:00 ~ 10:30	(1)「生活者」の読み書き学習—社会参加の視点から— 白皓 (早稲田大学大学院生)	(2) 日本語を学ぶ子どもたちのことばとアイデンティティを支える教育実践—中学生を対象とした作文の授業実践から— 本間祥子 (早稲田大学大学院生)
10:35 ~ 11:05	(3)あいづちの教育・学習へのアプローチに関する考察 柳東汶 (早稲田大学大学院生)	

【ポスター発表】 11:10~12:00 (※ 5会場同時開催)

第一会場：4階 共同研究室(1)	
(1)日本語学習者はどのように他者と関わり「自己表現」を実現し得るか—ブログでの「語り」と「相互自己評価」を中心に— 高久孝幸 (早稲田大学大学院生)	(2)聞き手は「笑いの対象」をどのように示しているのか—「繰り返し」に着目して— 内藤香月 (早稲田大学大学院生)
第二会場：4階 共同研究室(2)	
(3)日本語熟達者はどのように ICT を利用してきたか—workline を用いたインタビュー調査から— 岩崎浩与司 (早稲田大学大学院生)	(4)助言の「よりよい」やりとりに繋げるための観点に関する—考察—助言を聞く理解主体がプラス方向に捉えたやりとりを通して— 曹岐永 (早稲田大学大学院生)
第三会場：4階 共同研究室(3)	
(5)海外の年少者日本語教育実践における協働参加者としてのランゲージ・アシスタント—「補助的役割」以外の捉え方— 西井さくら (早稲田大学大学院生)	
第四会場：4階 共同研究室(4)	
(6)聞き返しによって聞き手が行う主張—「~って~ってこと↑」を事例に— 高槻美陽 (イーストウエスト日本語学校)	

第五会場：4階 共同研究室(5)

(7)「自らのバイオグラフィ冊を創る」授業実践に対する学習者の意識した学びと課題
今井なをみ（早稲田大学日本語教育研究センター）

【実践エキスポ】 11:10～12:00**会場：4階 共同研究室(6)**

(1) 映画を利用した日本語活動実践 工藤理恵（フェリス女学院大学）	(2) 語彙のネットワーク構築のための連語を用いた 語彙指導—初級クラスにおける語彙の授業の試み— 三好裕子（早稲田大学日本語教育研究センター）
---------------------------------------	--

【ブックセミナー】 11:10～12:35

時間	会場：3階 第一会議室
11:10～ 11:50	(1) 『外国人看護・介護人材とサステナビリティ:持続可能な移民社会と言語政策』宮崎里司・西郡仁朗・神村初美・野村愛（編著）、くろしお出版、2018 宮崎里司（早稲田大学）
11:55～ 12:35	(2) 『移動とことば』川上郁雄・三宅和子・岩崎典子（編）、くろしお出版、2018 川上郁雄（早稲田大学）・溝口明（早稲田大学大学院生）

【早稲田大学日本語教育研究センター30周年特別企画】 13:00～14:30**会場：3階 第一会議室**

研究プロジェクト成果発表会:

- (1) Can-do statements を利用した言語運用能力の把握と活用
代表者：伊藤奈津美（早稲田大学日本語教育研究センター）
- (2) 漢字習熟度に応じた強化が必要な要素の解明—漢字診断テストを用いて—
代表者：岩下智彦（早稲田大学日本語教育研究センター）
- (3) 日本語教育における新たな授業・学習の探索とコース開発
代表者：佐野香織（早稲田大学日本語教育研究センター）
- (4) 日本語音声における自律的学習支援システムの開発
代表者：木下直子（早稲田大学日本語教育研究センター）

※同会場で 15:00 から早稲田大学日本語教育研究センター30周年記念シンポジウムが開催されます。併せてご参加ください。